

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

例会日	水曜日 13:00～14:00	会長	竹内 裕子
例会場	ANAクラウンプラザ グランコートホテル名古屋	幹事	片桐 栄子
承認	2013年6月18日	公共イメージ 向上	早川 圭一



インスピレーションになる

2018～2019年度名古屋アイリスRCのテーマ

魅力あるアイリスに
(健全健やかに成長するアイリス)

●お問い合わせ: office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト: http://www.nagoya-iris-rc.jp

第262回 例会

2019年2月13日 13:00～

■司 会	林 功 例会運営・司会委員
■斉 唱	我等の生業
■出席報告	出席者数 18名 / 36名 出席率 50.00 % 前々回修正出席率 94.44 %
■ビジター	八神 基 名誉会員
■ゲスト	荒山 裕行 様

ニコボックス

- 八神名誉会員
岩崎さん、有難うございます。
- 竹内会長
本日の卓話、荒山先生、宜しくお願ひ致します。
八神さん、例会、お楽しみ下さい。
久々の暖かい日々、春が待ち遠しいです。
- 安井クラブ戦略委員長
荒山先生、本日はお世話になります。
池江選手、白血病との事。大変ショックを受けました。何か名大病院小児科病棟とダブってしまい心配です。ゆっくり休んでもらって必ず完治して下さい。璃花子さん、頑張ってください！！
- ボルジド米山記念奨学委員長
荒山先生、卓話、楽しみです。

会長挨拶

皆様、こんにちは。

先日、「ハラスメントの現状」のテーマで弁護士さんから「セクハラ」、「パワハラ」のお話を聞く機会がありました。私達の(美容師)業界は、「師匠と弟子」、「先生と教え子」という職人の世界でもありますし、技や技術を伝承して行くといいますが、縦社会でもあります。また、サービス業でもあり、人を育てる「人のビジネス」でもあります。部下のために、後輩のために、と思って言ったことが、「指摘」のつもりで言ったことが、怒った訳でもないのに、「指摘」が「攻撃」ととられ、「アドバイス」が、「怒った」ととられることもありますから、「気を付けて下さい」とのお話でした。事例を聞いて、店長のスタッフへの対応が問題となっても、会社として責任を問われること等を社員全員で勉強し共有することが大事だと言うことです。怒り方が悪ければ、「パワハラ」になる危険性が十分あ

り、指導する時は、感情に任せず口調や内容を事前に準備すること。そして深呼吸して冷静に判断し、言いたい言葉を一度飲み込む。そうです、キレたらアウトなのです。

冗談めかして「お前は馬鹿か」と言っても、きつい口調で「おまえは馬鹿か」と言っても、文字になれば、全く同じとなります。

冷静に怒る。「あなたのために言っている」の思いを相手にちゃんと伝えること。何よりも日頃の緊密なコミュニケーションが大切です。そして普段からの職場の環境作りや雰囲気作りが、大切とのことでした。

但し、「パワハラ」を恐れてコミュニケーションが希薄化することは、逆効果だそうです。

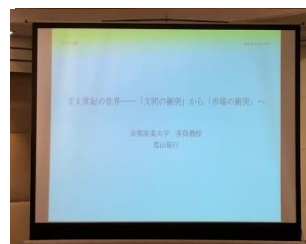
何かあれば、SNS等で一気に拡散する時代です。経営者や責任者は、危機管理を怠らないようにしたいものです。

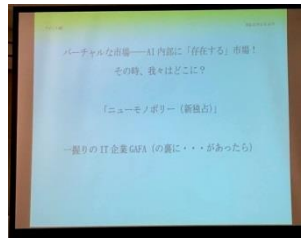
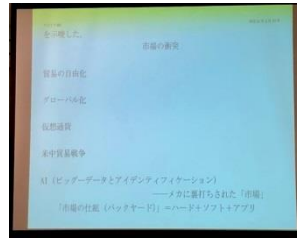
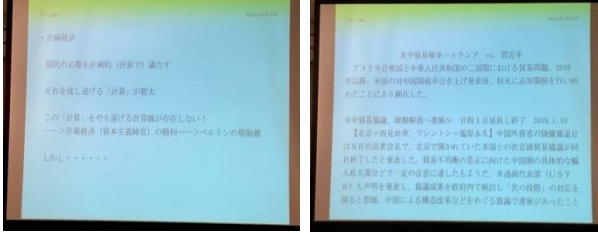
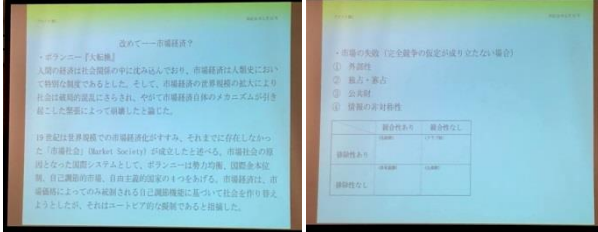
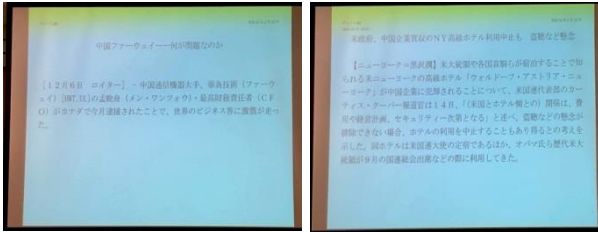
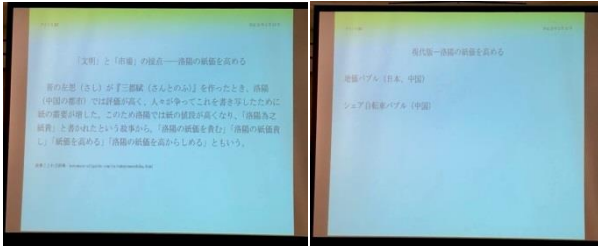
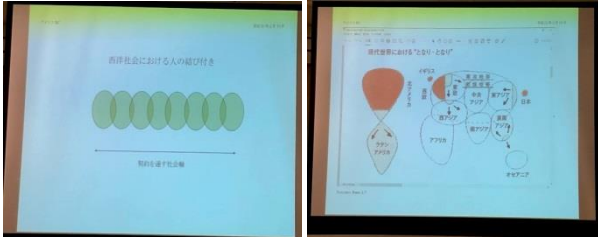
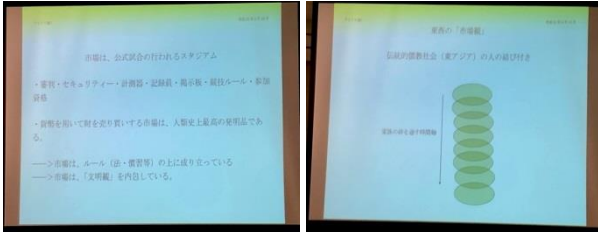
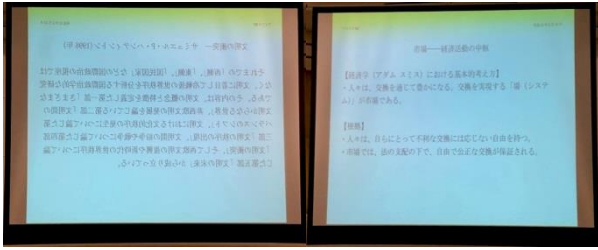


卓話

本日は、京都産業大学の荒山裕行客員教授にお越し頂き、『21世紀の世界-「文明の衝突」から「市場の衝突」』というテーマで卓話を頂戴致しました。

専門的で難しいテーマでのお話ではありましたが、十数枚のスライドを使い、分かり易くご説明をして頂きました。30分という限られた時間ではありましたが、非常に示唆に富んだ内容で、現代社会を読み解く上でも、且つ今後のビジネス社会においても、大変参考となるお話でした。





“ニューモノポリー（新独占）”
“AI という道具を使って、市場を支配する時代”
荒山先生、大変良い卓話を頂戴致し、誠に有難うございました。

